

HOT & ほっと あやせのこと、何でも知りたい…



バーチャル工場見学とものづくり体験をしよう



あやせ工業団地オープンファクトリーを開催

綾瀬工業団地で、ものづくりをしている町工場を見学・体験できる「あやせ工業団地オープンファクトリー」を開催します。

今回は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、予約制の「ものづくり体験イベント」とインターネット上でも工場の魅力にふれることができる「バーチャル工場見学」の2つの方法で行います。

ものづくりが好きだった大人も、ものづくりが好きな子どもも、家族で楽しめるので、ぜひ遊びに来てください。

●ものづくり体験イベント

全部で5コースあり、普段入ることができない町工場12社で、ものづくりを支える人や技術を見学できるほか、実際に産業用機械などを使用した製造体験などをすこ



とができます。作製したものは持ち帰ることができます。
時 2月6日(土)10時～15時(荒天中止。予備日2月13日(土))
場 同団地内(深谷上) 中学生以下は保護者同伴定220人
申 1月1日～29日に同団地オープンファクトリーのホームページ内にあるバーチャル工場見学の予約システム([URL https://www.ayase-kougyoudanchi.jp/open-factory/](https://www.ayase-kougyoudanchi.jp/open-factory/))からコースを選び予約(申込順。完了後にメール通知あり)

●バーチャル工場見学

同団地オープンファクトリーのホームページから、誰でも参加することができ、いつでも見ることができます。

時 1月1日(金・祝)開始

問 同団地オープンファクトリー実行委員会(同団地協同組合内) ☎78・8383



同団地オープンファクトリーのホームページはこちらから



あやせのものづくりを支える多様な人材からものづくり再発見

1番よりも上を目指して

しょうが 勝賀瀬さんは、自動車や工業用大型機械の部品を設計・製造している鶴盛工業(株)の溶接工で、今月で入社6年目を迎える。高校卒業後、アパレル会社やレンタルビデオ店の販売員として働いていたが、30歳を目前に「将来、働き続けるために手に職をつけたい」と考え、「ものづくり」の道に進むことを決意。「製造業の仕事内容は全く想像がつかなかった。自宅に届いた求人チラシを見て、どんなに大変でも挑戦してみようと思い、今の会社に飛



び込んだ」と当時を振り返る。当初は、体力面での不安もあったが、毎朝のジョギングと日々の業務で体力が付き、こなせる仕事量が徐々に増えていった。

販売員時代に先輩からよく言われていた「失敗したとき、原因を追究するとともによく理解し、対策を考えること」という言葉は、ものづくりにおいても重要な心構えであり、今でもスキルアップのために大切にしている。10月に開催された溶接技能を競う大会「あやせ技能五輪」では、各審査項目で満点という結果を残し、最優秀賞を獲得したが「自分の中でいくつかわくわくしなかったと思う箇所がある。大会終了後に反省し、改善策を考えた」と語る。

これからも、持ち前の向上心でさらなる成長を目指し、高品質な製品を綾瀬から世に送り出していきたい。

問 工業振興企業誘致課 ☎70・5661

同オープンファクトリーの選べる5コース

コース	参加する工場	内容	定	時
A	(有)光製作所 (有)加川製作所	スプーン、ヘルメット、キーホルダーを作ろう!	90人 (各回5人×3グループ)	10:00、10:40 11:20、12:40 13:20、14:00
B	(株)エステック 丸大鋼材(株) (有)大原板金工業	金属の飛行機を作ろう!	30人(各回5人)	10:00、13:00
C	橋本鉄鋼(株) (株)ナウ産業 新菅田工業(株)	ミニ黒板を作ろう!	30人 (各回5人×3グループ)	10:00、13:00
D	(株)大栄製作所 大和熱処理(株) (有)平井自動車板金	焼き火台を作ろう!	30人(各回5人)	10:00、13:00
E	(株)野口製作所	固形燃料用ミニ卓上コンロを作ろう!	40人 (各回5人×2グループ)	10:00、11:00 13:00、14:00

Aコース

ヘルメット、スプーン

Cコース

ミニ黒板

Eコース

固形燃料用ミニ卓上コンロ

Bコース

金属の飛行機

Dコース

焼き火台

※製品画像はイメージです

溶接にもチャレンジ! 手作りって楽しいネ!

- <注意事項>**
- ★駐車場は同団地内にありますが、約80台と限りがあるため、利用できない場合があります
 - ★駐車場や会場内でのトラブルは自身の責任で対応してください
 - ★ペット類(補助犬除く)の同伴はできません
 - ★新型コロナウイルス感染拡大防止のため、自宅で検温し37.5度未満か平熱と比較し1度超過でないことを確認した上、マスクの着用、手洗い、手先消毒を徹底してください
 - ★予告なく内容を変更する場合があります



タイムスリップ ～あやせ目久尻川歴史文化ゾーン構想～横須賀水道

横須賀水道は、市内に半原系統と有馬系統の2系統の導管路が敷設されています。半原系統は、愛川町半原から、厚木市・海老名市・綾瀬市・藤沢市・鎌倉市・逗子市を經由し、横須賀市逸見町の浄水場までの約53kmです。日露戦争以降、横須賀で軍港施設の拡充・強化によって用水不足となり、新たな水源の確保が求められたことから、明治45(1912)年に着手し、大正10(1921)年に完成しました。大正12(1923)年9月に発生した関東大地震の際に、導水管の破損など大きな被害を受け、震災直後に目久尻川の堀之内橋で、地域の人により大々的な復旧工事を行いました。有馬系統は、海老名市有馬・社家から吉岡を通過し、藤沢市葛原付近で半原系統と並びます。昭和10(1935)年以降、富国強兵の国策により、横須賀海軍工廠の拡張や軍港整備などで水が必要となったことから、昭和14(1939)年に着手し、昭和20(1945)年に完成しました。その後、昭和29(1954)年に横須賀市に移管されました。新春は、豊富な自然と横須賀水道がある目久尻川流域を散歩してみませんか。 ※半原系統は現在使用されていません **問** 生涯学習課 ☎70・5637

半原系統境界石(海軍石)

有馬系統(目久尻川付近)